【医療】

区内医療機関での胃がんエックス線検診の実施へ

江東区では、がんで亡くなる方が 3 人に 1 人であり、部位では、胃がんが 2 番目に多くなっています。これまでの区の胃がん検診は、検診車だけでの実施であり、低い受診率となっていました。

共産党区議団は、検診車だけではなく、区内の医療機関で一般健診と同時に胃がん検診が受けられるように改善を求めてきました。

区は、この提案を受け、2022 年 4 月から区の医師会と連携し、区内医療機関での胃がんエックス線検診を実施しました。

肺がん検診も区内医療機関での実施が可能に

肺がん検診も、2024 年 10 月より、区内医療機関で検診が行えるようになりました。

区内のがん患者数は、2023 年度で 4,000 人を超え、増加傾向になっています。死亡者減や医療費抑制には、早期発見・早期治療に向けたがん検診が重要です。

共産党区議団は、予算審査などにおいて、死亡者数で第 1 位の肺がんの検診受診率が、長年に渡って 5%台と極めて低いことを指摘し、改善を求めてきました。

区は、これまでの検診車と区外 2 ヵ所による肺がん検診に加えて、専門医がいる区内医療機関での検診を実施しました。

受診率向上へ　がん検診無料化求める

共産党区議団は、がん検診の受診率向上に向け、現在有料のがん検診を全て無料にすることを求め続けています。無料化は、年間約7000万円で実施可能です。